



イルカとよく似た姿をした爬虫類—魚竜— ステファノプテリギウス (実物化石)

展示されます。中でも海の爬虫類である魚竜の実物化石は当館の所蔵品ですが、今回が初公開となります。当館で行われる初の恐竜展。ぜひ、ご期待ください。

**埼玉には恐竜時代の岩石・地層がいっぱい！**

かつて秩父古生層とよばれていた秩父帯の岩石は、現在は秩父中・古成層とよばれています。これは二子山などにみられる石灰岩は古生代のものですが、そのほかの主な堆積物は中生代ジュラ紀、恐竜のいた時代のものであると考えられています。実は、一部の石灰岩も中生代にできたものがあります。その証拠にかつての武甲山山頂にあった地層からは、中生代三畳紀の貝の化石が見つかっています。そのため、武甲山山体の石灰岩は三畳紀に堆積したものと考えられています。



武甲山山頂付近産出二枚貝化石 (常設展示)

長瀬の片岩は、中生代白亜紀後期から新生代にかけての岩石です。まさに恐竜時代の最盛期とその絶滅期までの期間にできた岩石です。そして、埼玉県内では小鹿野町を中心に分布している“山中地溝帯”。白亜紀前期の地層で、群馬県側の同じ地層からは4標本もの恐竜化石が産出しています。埼玉県側からもアンモナイト

やベレムナイトなどの化石が見つかっています。このほかにも日高市や寄居町にも恐竜時代の地層が分布しています。



異常巻アンモナイト 左：ニッポニテス、右：ディディモセラス

**特別展 恐竜時代 ここが見どころ**

- ・多様なアンモナイト化石・

特別展で展示する国内外の多様なアンモナイトの中には、日本のアンモナイトの代表格である「ニッポニテス」や異常巻アンモナイトと呼ばれる奇妙な形をしたアンモナイト化石や巨大なアンモナイト化石を展示します。

- ・恐竜時代の埼玉の地層岩石を再発見・

「この地層は1億年前に・・・」とか「この岩石は7000万年前に・・・」というように埼玉の地質を説明するより、「この岩石は恐竜が生きていた時代にたまりました。もしかすると恐竜が踏んでいた砂を今私たちが踏みしめているかもしれません。」というように少し石を見る目が変わりませんか？特別展をご覧になっていただいた後で長瀬岩畳を改めて歩いてみてください。きっと埼玉の岩石・地層を見る目が少し変わっているはずです。この夏は長瀬で恐竜時代。

(きたがわ ひろみち・学芸員)